

平成 27 年 10 月 9 日提出

(宛先) 鎌倉市議会議長

議員名 長嶋 竜弘

職員労務管理に関する質問主意書

鎌倉市議会基本条例第 7 条第 3 項（鎌倉市議会会議規則第 105 条）の規定により次のとおり質問する。

1 件名

残業・休日出勤・休憩時間等の状況について

2 質問の要旨

ここのところ残業・休日出勤がまた常習化しているように見受けられる。
本来命令により行う事になっているはずだがそうっていないと思われる。
また、サービス残業・サービス休日出勤についてもあるのではないかとと思われる。
よって、残業・休日出勤について以下ご回答ください。

- ① 残業・休日出勤が命令として行われているかどうかのチェックは、どのような方法で、どの位の頻度で行っているのか。
- ② サービス残業、サービス休日出勤が行われているかどうかのチェックは、どのような方法で、どの位の頻度で行っているのか。
- ③ 命令で行われていなかった事例があったとしたら何件中何件あったのか。
- ④ 事後承諾があったとしたら何件中何件あったのか。
- ⑤ 残業・休日出勤とも決まった職員が多いように思うが把握できているのか。
- ⑥ 残業・休日出勤の多い職員、部署への業務改善指導はどのような内容で、どの位の頻度で行っているのか。
- ⑦ 残業が命令されていない職員は、閉庁後 30 分程度過ぎたら退庁すると言ったような規則を作るべきだがいかがか。
- ⑧ 20 時以降庁舎内に残っている職員は、守衛室の所で全員名前と退庁時間を記載する等のチェックをするべきだと思うがいかがか（時間は 20 時でなくても良い）。
- ⑨ 管理職の輪番制による残業チェックをするべきだと思うがいかがか。
- ⑩ 議会開催日以外のノー残業デーに、職員が残っている日が非常に多く見受けられるが、把握はどのようにしていて、その現状についてどのように考えていて、改善はどのようにすべきと考えているのか。

- ⑪ 業務に支障が発生しない事を前提に、出退庁時間をもう少しフレキシブルにして残業を減らす事を考えたらいいと思うがいかがか。
- ⑫ 休憩を一斉に取るのではなく、2～3便に分けて取れば事務が滞る時間が無くなり残業時間の削減につながると思うが実施するつもりはないか。
- ⑬ 喫煙を休憩時間以外は禁止するとの方針だそうだが何時から始めるのか。
またその事による残業時間削減効果はどの程度あると試算しているのか。
- ⑭ 残業削減の為には、事務効率の改善による業務量の削減と、事業数の削減が必要かと考えるが、どのように考えているのか。また、事務効率の改善、事業数の削減の具体的な対策はどのような事を考えているのか。
- ⑮ 鎌倉の街は土日祝祭日を中心に人の流れが多い街である。国に特区なりで要望して、市民活動部などを中心に土日祝祭日を通常勤務として扱うべきだと思うがいかがか。

3 答弁を求める者

副市長

4 答弁の期限

⑦ (平成 27 年 10 月 19 日まで) ・ 無

(理由：本会議開催日前までに読み込みが必要なので)